

# 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科修士論文作成要項

令和4年10月4日  
教育委員会修士部会  
令和5年6月6日  
一部改正

医歯学総合研究科(修士課程)学位論文は、本要領に従い作成することとする。

- 1) 修士論文は単著とし、和文または英文で記述する。  
なお、雑誌などに投稿中あるいは受理・発行された論文(単著または共著を問わないが、共著の場合は、論文審査を受ける者が筆頭著者であること)は、そのまま修士論文として提出することはできない。しかし、その旨、学位論文の要旨(様式3)の論文題目の下に1行程度開けて明記し、さらに学位論文の本文に⑩補足/Supplementとして記載して、論文を本作成要項に改めて作成した上で提出するのは差し支えないものとする。ただし、入学以前に掲載又は掲載を許可された論文は認めない。
- 2) 第1枚目は、論文表紙(別紙1)を作成する。  
第2枚目から本文を開始し、頁番号を1として、用紙の中央下に付す。
- 3) 本文はA4版、縦位置、横書き、片面印刷とし、上下3.5 cm、左右3.0 cmの余白を設ける。
- 4) 本文の和文フォントは「明朝」、英文は「Times」あるいはそれらの類似フォントとし、サイズは和文10～10.5ポイント、英文は12ポイントとする。行数は35行程度とする。
- 5) 英文の場合は、A4判を使用し、ダブルスペースで印刷し、和文の場合と同様の方法で作成する。
- 6) 表紙は、①表題/Title、②著者の所属(専攻名・分野名等)/Affiliation of author、③著者/Author、をこの順序で以下の点に留意して作成すること。
  1. 表題は、論文の内容を具体的かつ簡潔に示すものとし、論文が日本文の場合は日本語で、英文で書かれたもの場合は英語で記載すること。  
なお、英語の場合は、表題の下に( )書きで和訳を付記すること。
  2. 略語は、表題の中ではごく一般化されたもの以外は、原則として使用しないこと。
  3. 副題を付けることは差し支えないが、「第一報……」のような形式は避け、できるだけ簡潔なものにすること。
  4. 著者名は、称号を付けず姓名を略さずに記載すること。

## 【表紙の様式(A4判の用紙)】

A
○○○○○○○○○○
(            )
B
_____
C
_____

- A. 表 題(英文の場合は、和訳を付記する)
- B. 専攻名等  
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
医科学専攻  
(研究分野 ○○○○○学 )
- C. 著者名

7) 本文は、原則として、以下の項目を順に記載すること。

- ① 目次／Table of contents
- ② 略語／Abbreviations
- ③ 要約／Abstract (形式は自由、和文は600字以内、英文は300語以内)
- ④ 背景・序論／Background・Introduction (目的／Objectiveを含む)
- ⑤ 材料と方法／Materials (Subjects) and methods
- ⑥ 結果／Results
- ⑦ 考察／Discussion
- ⑧ 結論／Conclusion
- ⑨ 謝辞／Acknowledgement
- ⑩ 補足／Supplement (該当する場合)
- ⑪ 倫理面に関する記載／Ethics statement (該当する場合)
- ⑫ 利益相反／Conflict of Interest
- ⑬ 引用文献／References
- ⑭ 図表とその説明／Figures, tables and legends

なお、数字は算用数字を用い、長さ・体積・重さ(度量衡)等の単位はCGS単位(長さ:cm／質量:グラム／時間:秒)を用い、ピリオドは付さない。

また、文字数、総ページ数について、最大の記載量については制限を設けないが、少なくとも本文(④、⑤、⑥、⑦、⑧)は20,000字(英文の場合は7,000語)以上は記載すること。

8) 図表は全て表題をつける。図表は本文と独立させて別ページ構成としてよい。また、本文中の適切な箇所に挿入してもよい。

図の場合は、図の下に通し番号(Figure 1 または図1)、タイトルと図の説明を記し、表の場合は、表の上に通し番号(Table 1 または表1)、タイトルと表の説明を記す。

9) 引用文献は、本文中に引用順の番号を片括弧で記載し、引用文献欄に番号順に書く。

著者名は3名までとし、4名以上は、ほか(et al)とする(下記例示)。

(ジャーナルの論文を引用する場合)

著者名. 論文名. 掲載雑誌名. 出版年, 巻数, 号数, p.始め-終わり.

※巻数, 号数, は巻数(号数), の簡略表記でも可。

1) 医歯研太郎, 医科学花子, 鹿児島次郎ほか. ○○についての研究. ▲▲学会誌. 2022, vol.21, no.6, p.100-105.

2) Ishiken T, Ikagaku H, Kagoshima J, et al. Research on ○○. Journal of A. 2022, 21(6), p.200-215.

(著書の一部を引用する場合)

著者名. ”章の見出し”. 書名. 編者名. 版表示, 出版社, 出版年, p.始め-終わり, (シリーズ名, シリーズ番号)

1) 医歯研太郎, 医科学花子. ”ウイルスBの性質”. □□論. 修士一郎編, 第3版, 鹿児島出版社, 2022, p.300-305.

2) Ikagaku H, Kagoshima J. “Clinical studies for C”. Risks of DE Drugs. Syuushi I ed, 3rd ed. Medical and Dental Research Press, 1980, p.450-460.

10) 研究の倫理に関する各倫理委員会等の承認を得た研究であれば、その委員会名と承認番号を記載すること。

- 11) 論文作成にあたっては、「鹿児島大学における研究活動上の不正行為に関する規則」(平成19年2月23日裁定)等に定める「不正行為」を行うことのないよう留意して作成すること。
- ①捏造: 存在しないデータ、研究結果等を作成すること。
  - ②改ざん: 研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
  - ③盗用: 他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者等の了解又は適切な表示なく流用すること。
  - ④剽窃: いわゆるコピー&ペーストで、他人の文章やWebサイトの文章を学術上のルールに則ることなく自分の文章として記載すること。
- 12) 利益相反の欄には、当該修士論文の研究に、利害関係がある営利団体や関係者が存在しているか(公的研究費は記載の必要はない)について、以下の記載例を参考にその有無を開示すること。
- (研究結果の解釈に影響を受ける利害関係者がその研究に関与している場合、利益相反が存在する可能性があるため、各自の指導教員に確認すること。利益相反が有ること自体は問題ではないが、利益相反を正しく開示することが、論文の発表においては重要である。)

<記載例>

(利益相反がない場合)

- ・本論文に関連し、開示すべき利益相反状態はない。
- ・The author(s) have no conflicts of interest directly relevant to the content of this article.

(利益相反がある場合)

- ・この研究の○%は[企業名]からの支援により行った。
- ・本論文に関連し、[企業名]から研究助成を受けた。
- ・About ○% of this study was supported by [企業名].
- ・The author(s) received research grants from [企業名] to the content of this article.

- 13) 以上を、左綴じとし、簡易製本して提出する。

附 則

この要項は、令和4年10月4日から実施し、令和4年10月4日から適用する。

附 則

この要項は、令和5年6月6日から実施し、令和5年6月6日から適用する。